



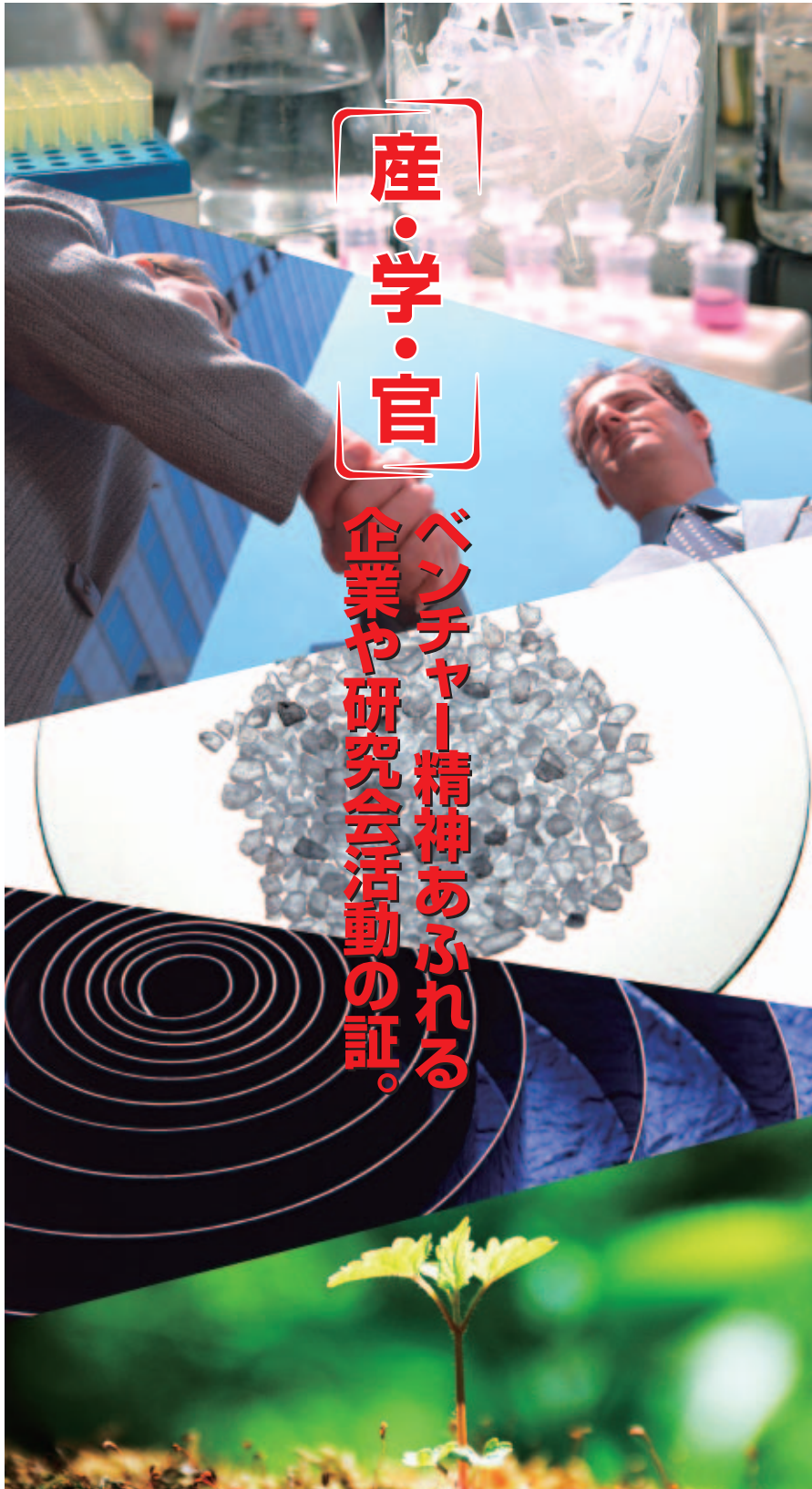
サザンクロス

SOUTHERN CROSS

郡山地域テクノポリスは、高度技術産業の集積による新事業創出を導く、東北のサザンクロス（南十字星）となることを目指します。

Vol.56 2008.5

- 編集発行 財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会
〒963-0101 福島県郡山市安積町日出山字北千保 19 番 8
ビックバレットふくしま3階
TEL024-947-4400 FAX024-947-4475
- 郡山地域テクノポリス推進機構ホームページアドレス
<http://www.techno-media.net6.or.jp/>
- インキュベーションセンターホームページアドレス
<http://www.monodukuri.net6.or.jp/>
- Eメール〈テクノ〉 techno@nm.net6.or.jp 〈ニューコム〉 info@nm.net6.or.jp



産・学・官

ベンチャー精神あふれる
企業や研究会活動の証。

■ごあいさつ P1

・理事長就任にあたって 丹治 一郎

■特別寄稿 P2

・産学官連携におけるそれぞれの役割
出村 克宣 氏

平成19年度事業報告

■テクノトピック P3~5

- ・テクノポリス新春講演会 2008
- ・第8回 産・学・官連携フォーラム
- ・第9回 ふくしまユニバーサルデザインフェア

■テクノナウ P6~17

- ◆ **新事業創出育成事業 P6~7**
・ものづくりインキュベーションセンターだより
- ◆ **人材育成事業 P8~11**
・Meister,s College (マイスターズ・カレッジ)
・学生ベンチャー支援事業
・高度 IT 人材育成事業
・IT 交流プラザ活動報告
- ◆ **研究会活動報告 P12~15**
・戦略的アライアンス形成会議
・環境保全・共生科学技術研究会
・医療・福祉機器等関連新事業創出研究会
・機能性材料・製造プロセス研究会
・アドホック研究会 (郡山)・須賀川方部アドホック研究会
- ◆ **研究開発・事業化コーディネート事業 P16~17**
・平成 19 年度助成事業
・NUBIC (日本大学産学官連携知財センター)
・平成 19 年度ニーズブル型 UD 製品開発事業
・技術コーディネーター紹介

■テクノインフォメーション P18~19

- ・理事会等の開催報告
- ・役職員の紹介



財団法人郡山地域テクノポリス推進機構

理事長就任にあたって

新事業創出を導く東北のサザンクロス (南十字星) を目指して 理事長 丹治 一郎

昨年 12 月に財団法人郡山地域テクノポリス推進機構理事長に就任いたしました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、最近の経済状況は、原油・原材料価格の高騰・高止まり、加えて急激な円高の進行など先行きの不透明感が増しておりますが、一方では、国内最大手の自動車部品メーカーの本県田村西部工業団地への進出決定など、製造業の中核的な産業である自動車産業、半導体産業の東北地方への立地・集積が活発化しており、地域の長期的発展を支える上で、極めて大きな意義を有するものであり、経済活性化への期待が高まっております。

こうした新たな動きを一過性のもので終わらせるのか、企業発展の好機として内発型の展開にうまく生かすことができるのか、まさに地域産業・地域中小企業の在り方が問われてくるものと思います。

そのためにも、地域中小企業の『技術力の強化』と、それを担う『ものづくり人材の育成』、そして様々な形での『産学官連携』を強力に推し進めることが極めて重要であり急務となっております。

このような中、私ども財団は、昭和 61 年の設立時より新事業創出を導く東北のサザンクロス (南十字星) たらんことを目指して、今年で 22 年目を迎えるわけではありますが、この間、研究開発への助成、事業化・起業化のコーディネート、さらには、企業連携によるアライアンス形成会議をはじめとした各種研究会の開催など、地域産業の活性化に向けて鋭意活動を展開して参りました。平成 18 年には、産学官連携による県内初のものづくりの起業支援施設として、「インキュベーションセンター」を整備し、それを核として、皆様方のご指導、ご協力を賜りながら、新事業創出への支援、技術人材の育成に努めているところであります。



SOUTHERN CROSS

今後も、こうした活動を充実させ、地域の中小企業振興のための支援機関として、地域産業が抱える様々な課題に些かなりとも応え得るよう、引き続き頑張って参る所存でありますので、関係各位の一層のご支援、ご協力の程よろしくごお願い申し上げます、就任にあたっての挨拶といたします。



産学官連携における
それぞれの役目

日本大学工学部長 出村 克宣氏



今回、平成20年4月1日付けで日本大学工学部長に御就任された出村克宣氏から、地域活力の創造に向けた産学官連携と大学の果たす役割という視点から寄稿いただきました。

郡山地域の産業振興にとって、産学官連携の役割は益々重要になっていると考えている。しかしながら、産学官のそれぞれの果たすべき役割が明確に理解されているのだろうかという疑問になるときがある。そこで、いくつかのキーワードを挙げて、産学官連携とは何か、その中で大学の果たす役割とは何かについて述べてみたい。

一般に、「産学官連携」というと、「大学のシーズ」を産や官が使うというイメージがあるが、産学官それぞれが、ニーズとシーズを持っていることを確認する必要がある。そこで、産学官のニーズとシーズを整理して表に示す。ある技術分野については、学よりも産が高い技術レベルを持っている場合もあり、産学双方の持つ技術内容を十分に理解することが重要である。又、産学官連携による技術開発などが行われる場合、その開発過程においては、技術開発のための助成制度や行政指導力などの官のシーズが発揮される。しかし、その利用先の市場を見つけることが困難な場合も多い。そのような時には、官の持つ公的機関がその市場として有効に機能する可能性がある。一方、大学にもニーズは存在する。大学においては、様々な研究が成されているが、その成果は学術論文として発表される。しかし、特に工学系の研究者はその成果が世の中で利用されることを望んでおり、大学の研究成果を広く公開することも重要であると考えている。

一方、「大学は敷居が高い」と指摘されることがあるが、これについては、「No」と答えたい。もちろん、大学で行われている研究は各分野において先端的なものではあるが、大学は、「専門分野の技術レベルが高い」、「周辺技術に関する技術情報を持っている」と認識されるべきであり、このことが、「大学は敷居が高い」ということにはならない。工学を視点にした場合、「ものを造りたい」、「改良したい」、「性質を調べたい」、「製造プロセスを改良したい」、「技術的な解説がほしい」などを産学官連携のキーワードとして挙げることができ、現在、工学部においても、委託研究、コンサルティング、材料試験などの業務のほか、マイスターズ・カレッジにおける講師や、産学官連携フォーラムにおけるパネラーの派遣など、広い観点からの産学官連携に取り組んでいる。

このように、産学官連携において大学ができることは、保有する知的財産の利用であり、具体的には、講師派遣のようなソフト面と商品開発のようなハード面がある。特に、ハード面における産学官連携は、MOT (Management of Technology) を意味する。これは、「技術の商品化」と呼ばれるが、そのプロセスは、(ニーズ + シーズ) → (アイデア) → (技術開発) → (実証化) → (商品化) → (市場開拓) と捕らえることができる。商品開発を成功させるためには、プロセス全体を見渡したマネジメントが重要であり、産学官のいずれがそれを担うのか、このプロセスのどの部分に産学官連携が成り立つのか、役割分担ばかりでなくリスクの分担も伴うなどの観点からの十分な議論を重ねて、産学官連携に取り組むことが重要であると考えている。

最後に、本稿が産学官連携に基づく地域活性化の一助になれば幸いである。

産学官のニーズとシーズ

組織	ニーズ	シーズ
産	新商品開発・商品の改良・新市場開拓	技術・顧客開拓術
学	知的財産の商品化	技術・コンサルティング・機器分析・性能評価試験
官	社会基盤構築のための技術	産業育成指導(助成金制度など)・公的機関市場・各種行政指導

出村 克宣 氏 日本大学工学部長

茨城県北茨城市出身。東京都立富士森高、日大理工学部建築学科卒。

同大大学院工学研究科修了。工学博士。日大工学部助手を経て同学部教授。

4月1日に学部長に就く。専門は建築材料学で、建設分野で利用する材料やシステムについて研究している。郡山市在住。54歳。

テクノポリス新春公演会2008 「下請けからの脱却！その戦略と実践」

日時：平成20年1月29日(火) 13:30～15:00
 場所：ビッグパレットふくしま
 参加：約80名
 主催：(財)郡山地域テクノポリス推進機構
 共催：郡山地域テクノポリス市町村協議会
 郡山地域テクノポリス推進協議会
 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会



「テクノポリス新春講演会2008」は、最近の原油価格の高騰、アメリカ経済の景気減速、それに伴う円高の進行、株価の下落、人口減少を反映した個人消費の陰り、地域格差など、激動する社会経済情勢の中にあって、日々企業経営の変革に迫られる地域の中小企業の方々にタイムリーな話題や先進的企業の取組みを紹介し、新たな活力につなげていただこうという趣旨で毎年開催しています。

今回は、下請から脱却するため中小企業が本来持っていた機能を回復させ、社員が夢を持てる働きがいのある会社づくりを目指し様々な改革に取り組み「日本一楽しい会社」として全国で注目を集めている「有限会社中里スプリング製作所・代表取締役の中里良一氏」を講師に迎え、『下請けからの脱却!その戦略と実践』と題して、中小企業経営の必勝発想法と経営手法について講演を行いました。

中里スプリング製作所は、精密スプリングの設計・加工を幅広く手がけており、小回りの利く生産体制を採り、特殊材の加工や、独自にスプリングの規格化も進めております。また、中里氏は、ユニークな企業経営者として新聞、雑誌やテレビ番組に取り上げられています。



講師 有限会社 中里スプリング製作所
 代表取締役 中里 良一 氏

【講演内容】

- 21世紀の勝ち残りを目指して!
- 革新的な経営者に成る為には2つの関所を通り抜けること!
- 社員に楽しく仕事に取り組んでもらう方法とは?
- 個性ある自社製品を開発せよ!

中里 良一 氏プロフィール
 1952年群馬県生まれ
 1976年(有)中里スプリング製作所入社
 1985年同社代表取締役 就任

どんなことでも一番に認定した社員には、取引先で嫌いなお客様を切る権利を与える「ご褒美制度」の導入や、就業時間内に工場の機械を自由に使って自分の好きなモノを製作する権利などユニークな方法を取り入れ「楽しい職場作り」の実現と、小規模経営であっても社員一丸となって頑張れば全国展開が可能であることを実証。

第8回 産・学・官連携フォーラム

日時：平成 19 年 11 月 26 日（月）13:00～16:00

場所：日本大学工学部 50 周年記念館

参加：約 70 名

主催：（財）郡山地域テクノポリス推進機構

日本大学工学部工学研究所

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会



開会あいさつ 小野沢 元久氏

去る 11 月 26 日、日本大学工学部 50 周年記念館において、今回で 8 回目を迎えた「産・学・官連携フォーラム」を開催しました。

日本大学工学部長 小野沢元久氏、財団法人郡山地域テクノポリス推進機構 理事長 大高善兵衛氏（代理 常務理事 熊田正治）に

よる主催者挨拶後、フォーラム第 1 部として、『地域の特性を活かした産学連携－国境を越える空間経済学の視点から』と題し、神戸大学経済経営研究所の濱口申明教授が基調講演を行いました。

第 2 部では、『アジア経済圏を視野に入れたものづくり』をテーマに、パネルディスカッションを行いました。

●第 1 部 基調講演

『地域の特性を活かした産学連携－国境を越える空間経済学の視点から』

講師 神戸大学経済経営研究所教授 濱口 申明 氏

○基調講演 要旨

近年、官の旗振りによって振興される産学連携は、本来、楽しく、そしてためになると思う個人が自然と集まる、そんな環境が理想的のように思われる。そのようなシステムであれば、誰かが集中管理していなくとも、常に細部では変化しながら、全体としては動的に安定したものとなりえる。実は、空間経済学において、産業集積を政策的に作り出すことは容易ではなく、明確な処方箋を持っているわけではない。しかし、これまでに形成された産業集積の来歴を眺めてみると、理論的に解明されてきたように、人をどんどんひきつける自己組織化的な要素がどこかにある。それは、案外、その土地の文化や伝統の中にもともと埋まっているものなのかもしれない。

●第 2 部 パネルディスカッション

『アジア経済圏を視野に入れたものづくり』



コーディネーター

小野沢 元久 氏（日本大学工学部長）

パネリスト

遠藤 憲子 氏（経済産業省 東北経済産業局地域経済部

産業支援課産学官連携推進室 室長補佐）

武田 廣 氏（日本貿易振興機構 福島貿易情報センター所長）

河邊 大輔 氏（株式会社アイアールメディカル工房 代表取締役社長）

横瀬 三亀夫 氏（東北リズム株式会社 代表取締役社長）

阿部 賢輔 氏（株式会社東邦銀行 取締役郡山支店長）

西川 和明 氏（福島大学経済経営学類 教授）

第9回ユニバーサルデザインフェア・UD 夢市

日時：平成 19 年 9 月 28 日（金）～ 30 日（日）

場所：ビッグパレットふくしま

参加：約 11,000 名

主催：ふくしまユニバーサルデザインフェア実行委員会
 （（財）郡山地域テクノポリス推進機構・郡山商工会議所・福島県デザイン振興会・NPO ふくしまユニバーサルデザイン）

共催：福島県・郡山市・須賀川市



今年で9年目を迎える本イベントは、『UD 夢市・思いやりが見える快適生活』をテーマとして、ユニバーサルデザイン（UD）の考え方をまちづくりやものづくりなど様々な分野に幅広く浸透させ、思いやりに満ちた UD 社会の実現のための一助として開催しました。

「生活」「住まい」「医療」「グループ・団体」の4ゾーンと「飲食」「ホビー・カルチャー」の2エリア及び郡山商工会議所大商談会“夢市”コーナーに県内外94の企業、団体、学校が出展し、人や環境にやさしい物・システム・サービスやそれに関わる方々が一堂に会して、ユニバーサルデザイン（UD）の大切さを広く発信し、交流を深めました。



■主なイベント

『UD ビジネス・フォーラム in 福島』

「国が考える UD と地方の取組み状況」
 講師 国土交通省 小野田 吉純 氏

「地域が活性する UD 実践編」
 講師 いいがたスローフード 岩田 桂 氏

「黒酢農法ブランド立ち上げ」
 講師 養田 武朗 氏

「7年目の UD 番組奮戦レポート」
 講師 北海道文化放送 山田 ディレクター
 石井 キャスター



『介助犬デモンストレーション』

社会福祉法人 日本介助犬協会
 NPO 法人 日本介助犬アカデミー



『UD 音楽祭』

聴くとやさしい気持ちになれる UD 音楽



『UD ファッションショー』

（社）福島県専修学校各種学校連合会
 NPO 法人ユニバーサルファッション協会



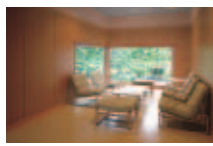
ものづくりインキュベーションセンター だより

(財)郡山地域テクノポリス推進機構では、国、福島県、郡山市、日本大学等の助成を受け、平成18年8月に「郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター」を日本大学工学部敷地内に建設し、その管理・運営を行っています。

「郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター」は、ものづくりによる新たな産業の創出を促進するための企業支援施設で、企業等の入居スペースのほか、東北初となるプロトタイプ(試作品)を製作するための工作機械を備えた試作センターを併設しています。また、研究開発・事業化支援のための専門家(インキュベーションマネージャー・技術指導員・技術コーディネーター等)を配置して、様々なサポートをハードソフトの両面から提供するとともに、郡山地域を中心とした大学等の知的資源や産業支援ネットワークを活用し、企業等の要望に応じて、技術シーズの事業化を支援しています。



■ 起業支援室(事務室タイプ)



■ ロビー



■ 起業支援室(実験室タイプ)



■ 試作センター

郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中原原1番1(日本大学工学部キャンパス内)
TEL 024-926-0344 FAX 024-943-4441
URL <http://www.monodukuri.net6.or.jp/> E-mail monodukuri@nm.net6.or.jp
設置・運営主体 (財)郡山地域テクノポリス推進機構

支援メニュー

新製品の研究開発による新事業創出の成功確率を高めるため、研究開発の指導者がいる大学の敷地内に、新製品のプロトタイプ(試作品)を設計・製作する《場》、試作のための基本的な《設備》、経営・技術両面での支援のための《人材》を提供いたします。

〈場〉 日本大学工学部キャンパス内に新製品の研究開発の拠点として、低廉な料金で入居可能な起業支援室(11室)を提供。(24時間365日利用可)

〈設備〉 プロトタイプの製作に必要な各種工作機器を備えた試作センターを併設。(高精度立体加工用マシーニングセンター等を設置)

〈人材〉

- インキュベーションマネージャーによる経営・技術両面でのアドバイスや各分野の専門家・支援機関などの紹介。
- 技術指導員による試作センターでの試作品製作の際の技術指導。
- 技術コーディネーターによる研究開発・起業化の助成支援、各分野の研究會開催、大学・公設試験研究機関等の研究者との連携。郡山テクノポリス圏域企業によるアライアンス(企業連携)形成への参加等。



入居企業紹介

企業名：(株) アイアールメディカル工房
業種等：医療機器企画・研究・販売
本社所在地：郡山市
入居日：H18.8.21
主な研究
開発案件：①スライドバスケットワイヤーカテーテル
②バイブレーションカテーテル
③透明な脳穿利用管針 など
支援室 No 1

企業名：(株) タウザー研究所
業種等：医療機器の設計開発
本社所在地：郡山市
入居日：H20.2.1
主な研究
開発案件：①乳がんチェッカー
②次世代型ヘッドフォン など
支援室 No 2

企業名：(株) ライブニュー
業種等：土舗装材料の開発・販売・施工
本社所在地：東京都
入居日：H20.2.1
主な研究
開発案件：①天然土を主原料とした保水性土舗装材料
②調質木材 など
支援室 No 3

企業名：神田産業(株)
業種等：段ボール箱の製造販売
本社所在地：須賀川市
入居日：H20.2.1
主な研究
開発案件：①段ボール製造機械の検査装置
②段ボール業における小ロット
多品種生産対応自動機 など
支援室 No 4

企業名：(株) アクトメディカルサービス
業種等：医療機器企画・研究・販売
本社所在地：福島市
入居日：H18.9.1
主な研究
開発案件：①位相シフト法を利用した新しい
血流量計測システム など
支援室 No 5

企業名：(株) フツロ
業種等：医療機器企画・研究・販売
本社所在地：さいたま市
入居日：H18.8.21
主な研究
開発案件：①新規開発医療機器であるスィング鉗子
②生分解性プラスチック処理システム など
支援室 No 6

企業名：(株) ビーアンドエム
業種等：精密機械器具製造
本社所在地：会津若松市
入居日：H18.8.21
主な研究
開発案件：①タクトイルマッピングシステム
②多機能型卵子操作システム
③ロボットハンド など
支援室 No 7

企業名：(株) 向山製作所
業種等：電子部品組立加工
本社所在地：大玉村
入居日：H18.9.1
主な研究
開発案件：①食文化(美味しさの定義)に関すること
②非接触による測定に関すること など
支援室 No 8

企業名：特定非営利活動法人福島おらが街ふるさと創り研究会
業種等：構造物非破壊試験研究開発
本社所在地：郡山市
入居日：H18.10.1
主な研究
開発案件：①岩盤斜面崩壊予防のためのアコースティックエミッション
②超音波によるコンクリートクラック深さ測定器の
実用化 など
支援室 No 9

企業名：クリーン・エネルギー・ネットワーク有限責任事業組合
業種等：自然エネルギー研究開発等
本社所在地：郡山市
入居日：H18.8.21
主な研究
開発案件：①燃料電池・水素発生装置の高効率
による省エネ制御システム など
支援室 No 10

企業名：福島県雨水活用事業協同組合
業種等：雨水利用システム設計施工
本社所在地：郡山市
入居日：H18.8.21
主な研究
開発案件：①雨水ろ過長期保水システム
②浄化槽二次排水処理プラント など
支援室 No 11



平成19年度
主な動き

〈入居審査会の開催状況〉

- 1) 入居者延長審査 6月22日
 - 2) 入居者審査 12月19日
- 審査の結果、下記の3社が新しい入居者に決定。
- ◆支援室N02 (株)タウザー研究所
 - ◆支援室N03 (株)ライブニュー
 - ◆支援室N04 神田産業(株)



(株)ライブニュープレス発表

〈入居企業の動き〉

- 株式会社ライブニューの新技术プレス発表 3月18日
- (株)ライブニューは日本大学工学部と連携して低温化での水の熱化学分解による水素製造に成功し、記者発表を行った。

〈NUBIC郡山サテライト〉

- 相談窓口開設 7月27日より毎月1回開催

〈センターを会場とした各種セミナー等の開催〉

- 1) 「マイスターズ・カレッジ2007」開催
9月13日～11月13日
- 2) 「ドリームゲートセミナー」開催
12月1日～12月11日
- 3) 「環境保全・共生科学技術研究会」講演会
2月28日

〈平成18～19年度のセンター視察来訪者〉

- 平成18年度(8月～3月)の来訪者 165名
- 平成19年度(4月～3月)の来訪者 657名
- 合計 822名

コラム
IMのツブヤキ

インキュベーション・
マネージャー
宮越 稔

「天性を見出し育成に努める」 江崎 玲於奈

IM(インキュベーション・マネージャー)修了証授与と一緒に先生のサイン入り記念品を戴きました。このような研修を受講させて戴いた職場に感謝すると同時に早く恩返しをしなくてはと思っています。私はJANBO((財)日本立地センター)のIM養成研修22期生です。平成19年度までのIM養成研修修了者は487名です。その内福島県には11名のIMが活躍しています。IMになり、お陰様で仲間が沢山増えました。IMの仕事の一つとして仲間作りと言っても過言ではありません。IM一人では解決できない事項が多々あります。それを補うのが異業種ネットワークであり、IMの仲間たちです。仲間の大切さを身をもって感じていますし、これからもその人達を大切にしていきたいと思っています。これからは産学官連携を推し進め、地域企業の新商品開発や新事業を生み出し、地域社会の活性化のため一日でも早く貢献できる様に日々努力したいと思っています。

IM研修風景(事例研究)



「Meister's College 2007」(マイスターズ・カレッジ 2007)

日時：平成 19 年 9 月 13 日（木）～ 11 月 13 日（火）

基本的に毎週火曜日又は木曜日の午後 6 時から

座学：2 時間 実習：3 時間

場所：郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
日本大学工学部

参加：10 名

主催：(財) 郡山地域テクノポリス推進機構

(財) 郡山地域テクノポリス推進機構では、県内中小製造業等の中核となる従業員の方々を対象にテクノポリス圏域企業、日本大学工学部、(財) 郡山地域テクノポリス推進機構の産学連携により、基盤的製造技術の高度化を図る人材育成事業として、前年度に引き続き実施しました。

『表面改質と溶射』 講師 日本大学教授 横田 理 氏

〔研修状況〕

溶射は、溶融、あるいは半溶融状態に加熱した微小粒子材料を基材表面に吹き付け、その表面に新しい被膜を形成させる方法です。溶射法は表面改質法に係わる加工法の一つであり、各種産業分野への適用は拡大して、極めて重要な加工技術となってきています。

授業では、加工前後の材料の質量の増減により除去加工、変形加工、および付加加工の 3 つの方法についての概要や溶射法の長所・短所、溶射法の分類、溶射材料、溶射現象、溶射被膜の性質、被膜評価試験法、溶射の応用について詳細に学びました。

実習『溶射被膜の作製』 講師 日本大学教授 横田 理 氏

〔研修状況〕

実習では、燃焼ガスとしてアセチレン酸素を用いたフレーム溶射により被膜作製を行いました。コーティング材料として、アルミナ、銅、自溶性合金の 3 種類を使用し、基材にはステンレス鋼を用いました。

まず、溶射被膜作製の前段階としてその表面にプラスト加工やアンダーコーティングを施す前加工を行い、その後、作製したそれぞれの被膜試験片を比較し、密着性や硬さの関係を学びました。



『材料の破損・破壊と特殊加工』 講師 日本大学教授 橋本 純 氏

〔研修状況〕

授業では、まず、「材料の種類」「引張り、圧縮、ねじり、曲げにおける応力と変形」「組み合わせ応力と変形」「破損・破壊の条件」などや、材料強度の具体例として、「非対称断面はりの破壊」「曲げの衝撃破壊」「応力集中下の降伏」などについて学んだ後、セラミックスが破壊する際の亀裂をコントロールして、希望する断面で切断するという材料の破壊を積極的に利用した「曲げによる破壊と加工」「側圧による破壊と加工」「ディスクング」などの特殊加工について学びました。

実習『材料試験と特殊加工』 講師 日本大学教授 橋本 純 氏

〔研修状況〕

実習は、側圧による円筒の破壊までの材料試験であり、円筒の破壊までの時間と破壊圧力、円筒の破壊と破面状況等についてのデータを収集し、円筒の破壊に必要なエネルギーを算出しました。

準備する試験材料は、オールセラミックスと言われるガラスと、高分子材料であるアクリルの 2 種類で、円筒の直径と側圧の負荷速度を変えて行い、試験材料の種類と大きさ、ならびに側圧の負荷速度を変えて得られた各種データについて検討しました。



『MEMS技術』 講師 日本大学教授 坂野 進 氏

〔研修状況〕

MEMS は半導体技術を用いて大量により低コスト化が期待できるとともにシステムの小型化、高信頼化の達成が可能です。また、新しいシステム、デバイスの開発の可能性を秘めています。研究成果から実用化される MEMS 技術は極めて少ないのが現状です。

授業では、半導体製造技術を基とした MEMS 技術について説明を受けるとともに、MEMS の実用化を阻害している要因について、さらに、最近の研究を基に MEMS の新しい展開などについて解説を受けました。

実習『MEMSの製作』 講師 日本大学教授 坂野 進 氏

〔研修状況〕

防塵服を着用したクリーンルーム内での作業の体験と MEMS 加工技術のプロセスの経験が本実習の主目的です。

MEMS 製作として、マスクの点検、レジストの塗布・ベーク、露光装置を使用してのシリコン基板への露光、エッチング、洗浄、検査と一連の作業を行い、自分達で製作した MEMS を高精度測定装置で観察しました。このような一連のプロセスを経験することにより MEMS 加工技術の基本を学びました。



『ウォータージェット加工技術』 講師 日本大学教授 清水 誠二 氏

〔研修状況〕

授業では、最初に各種噴流による加工原理の説明を受けました。まず水噴流の場合は、噴流衝突時に発生するせき止め圧あるいは水撃圧力で材料が破壊されるのに対して、アブレシブジェットの場合には研磨材粒子が衝突することによる切削、疲労、脆性破壊などに基づくものであることを学びました。

次に、アブレシブジェットの噴流形成方法、加工特性、技術動向の詳しい説明を受けた後、さらにキャビテーション噴流や液化ガスジェットなどの新しい噴流形成技術、および高速液体噴流およびその関連技術に係る特殊な応用例などについて、最近の文献をもとに説明を受けました。

実習『ウォータージェットの利用に関する実習』

講師 日本大学教授 清水 誠二 氏

〔研修状況〕

扇状に広がる水噴流（ファンジェット）、水中で高速水噴流を噴射した場合に形成されるキャビテーション噴流、高速水噴流に特殊なノズルヘッドを用いて研磨材を添加したアブレシブ・インジェクション・ジェットなどについて、ストロボスコープや高速度ビデオを使用し観察しました。

さらに、アブレシブジェット加工機によって金属板の切断実験を行い、噴射圧力、研磨材流量、切断速度によってアブレシブジェットの切断能力がどのように変化するかを調べました。アブレシブジェットについては、噴流の流動の様相と切断結果を比較することで、噴流の流動構造と加工特性の関係を学びました。



学生ベンチャー支援事業「ドリームゲートセミナー」

日時：平成19年12月1日、4日、6日、11日の4日間

場所：郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

日本大学工学部

参加：14名

主催：(財)郡山地域テクノポリス推進機構

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

■第1日目 開講式及び「マネジメントゲーム（模擬経営ゲーム）」

講師：ビジネスマネジメントネットワーク 代表 高橋 茂人 氏



■第2日目 「ディベート（チーム対抗討論会）」

講師：有限会社 ぱすわーど 代表取締役 水上 哲夫 氏

■第3日目 「プレゼンテーション（ビジネスプラン発表会）」

講師：有限会社 ぱすわーど 代表取締役 水上 哲夫 氏



(財)郡山地域テクノポリス推進機構は、郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会と連携し、学生ベンチャー支援事業として「ドリームゲートセミナー」を開催しました。

この催しは、起業を希望する大学生や専門学校生を対象とし、経営力や交渉力、決断力やチャレンジ精神を身につけ、「起業家」的感覚を学んでもらうことを目的に開催したものであり、新たな試みとして取り組みました。

■第4日目 「ベンチャーわいがや塾（講演会と意見交換会）」

講師：エヌケー・テック株式会社 代表取締役社長 内藤 清吾 氏
株式会社コンピューターシステムハウス 代表取締役会長 須藤 保夫 氏

全体を通して学生は「経営者的感覚を持って仕事をする」ということの大切さや、主体的に物事をとらえることの重要性などを身を持って学ぶことができた様子。アンケートでも「非常に参考になった」「またこのようなセミナーがあれば参加したい」という声が多く寄せられました。



高度 IT 人材育成事業「OA 推進リーダー研修講座」

日時：平成19年12月25日（火）～12月27日（木）

平成20年1月9日（水）～1月10日（木）

計5日間

場所：日本大学工学部

参加：8名

講師：(株)エフエム 紺頼 祐子 氏

主催：(財)郡山地域テクノポリス推進機構

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

昨年に引き続き日本大学工学部と連携し、職場のシステムやネットワークの管理担当者などを対象に、パソコンやネットワークの基礎を学び直し、トラブルシューティング等の実習を交えながら、より高度で実践的な知識を習得できるよう「OA推進リーダー研修講座」を開催しました。

日付	カリキュラム
12月25日(火)	会計経理の知識、マネジメントの知識、業務改善のモデル化、データの収集と整理
12月26日(水)	情報システムの開発と知識、情報システムの運用管理、障害対策、セキュリティ管理
12月27日(木)	LAN、WAN、ネットワーク、IPアドレス、通信ネットワーク
1月9日(水)	小規模ネットワーク構築実習
1月10日(木)	関数活用実習、データベースにおけるマクロ作成実習



IT 交流プラザ活動報告

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会と連携し、「IT」をキーワードに圏域企業や個人・SOHO等を対象に会員を募り、情報交換や情報収集の場を設け、相互の連携を深めるとともに圏域内企業、住民のITの高度利用を促進し、ITを媒介としたコミュニケーションに重点をおくICT化社会への対応を支援するため「IT交流プラザ」事業を実施しています。

第1回 クリエイターズ・スキルセミナー「CSS+Flash 講座」

主催：(財)郡山地域テクノポリス推進機構
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会
日時：平成19年6月18日(月)・19日(火) 10:30～17:00
会場：ビッグパレットふくしま
参加：46名
講師：(株)ロクナ
クリエイター/インストラクター 小松 学史 氏
内容：6月18日「CSS+Dreamweaver」
6月19日「Flash」

昨年度シリーズ開催したクリエイターズセミナーに続き、今年度はより技術的な知識を学ぶ場として、これからのWeb制作に必須の「CSS」と、Web上での表現を豊かにする「Flash」の2点に絞ったクリエイターズ・スキルセミナーを開催しました。



第2回 情報化人材育成セミナー「コーチング入門講演会」

主催：(財)郡山地域テクノポリス推進機構
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会
日時：平成19年7月27日(金) 13:30～15:30
会場：ビッグパレットふくしま
参加：約40名
講師：(株)コーチ・トゥエンティワン
プロフェッショナルコーチ 竹下 知子 氏
内容：コーチング入門講演会

参加者全員から好評を得た「コーチング入門講演会」の2回目。相手のやる気や行動力を引き出すコミュニケーション手法の一つである「コーチング」を学ぶことで、コミュニケーション能力を高めることができます。前回同様コーチングのプロを招いて、その必要性や効果など、実習を交えながら学ぶ講演会を開催しました。



第3回 ビジネスウェブ活用セミナー「ブログ活用セミナー」

主催：(財)郡山地域テクノポリス推進機構
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会
日時：平成19年9月1日(土) 13:00～15:00
会場：ホテルハマツ
参加：約50名
講師：(株)カレン
広報室長兼次世代ビジネスリサーチ室長 四家 正紀 氏
内容：講演会「実践ビジネスブログ運営法—成果を上げるためのブログ・ライティング—」

昨年度開催した「ブログの活用法」に続き、圏域内のWebクリエイター支援のために、効果的でかつ成果を上げるためのブログの書き方について、ブログマーケティングの第一人者による講演会を開催しました。



第4回 情報化人材育成セミナー「文書管理ソフト活用セミナー」

主催：(財)郡山地域テクノポリス推進機構
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会
日時：平成19年10月4日(木) 15:00～16:30
会場：ビッグパレットふくしま
参加：約30名
講師：富士ゼロックス福島(株)
システムパートナー課 池田 茂 氏
富士ゼロックス(株)
OPS営業部 東日本支店 山本 篤 氏
内容：講演会「文書管理とセキュリティについて」

従来の紙ベースの文書管理から、「文書管理ソフト」と呼ばれるソフトへ移行し活用することで、文書内容の検索やデジタル文書の共有、また高いセキュリティを確立することができます。そこで、文書のデジタル化管理によって得られる効果やメリットを学ぶ講演会を開催しました。



第5回 クリエイターズフォーラム 2007&
「第5回郡山地域ホームページコンテスト 2007」表彰式&作品発表会

主催：(財)郡山地域テクノポリス推進機構
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会
日時：平成19年10月27日(土) 13:30～16:30
会場：ビッグパレットふくしま
参加：約80名
内容：表彰式・作品発表会(第1部)・基調講演会(第2部)

7～9月にかけて募集した「第5回郡山地域ホームページコンテスト2007」の受賞作品表彰式・作品発表会を行いました。また基調講演会では、圏域内のWebクリエイターに向け「最新の検索エンジンの動向」と題し、日本における検索エンジン使用率シェア57%のYahoo!Japanにおける「検索結果激変後の上位表示最新テクニック」について、セミナーを開催しました。

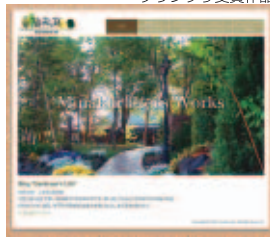
第1部 「第5回郡山地域ホームページコンテスト2007」表彰式・作品発表会

プレゼンター：郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会
事務局長 熊田 正治
コーディネーター：ホームページコンテスト審査委員長
日本大学工学部情報工学科 准教授 加瀬澤 正氏



WEB contest

グランプリ受賞作品



賞名	応募者	作品タイトル
グランプリ	皆来庭	皆来庭
準グランプリ	てんこもり TV	てんこもり TV
準グランプリ	いやしこ屋	いやしこ屋/手作り石けん・癒しグッズショップ
教育・公的機関部門 優秀賞	郡山市ふれあい科学館 スペースパーク	郡山市ふれあい科学館 スペースパーク
個人・趣味部門 優秀賞	robbi+design	DREAMTIDEFAN.net
CSS カスタマイズ部門 優秀賞	Q	at the end of summer
審査委員特別賞	おざきしめじ	東京偏見・TMS
審査委員特別賞	福島県立清陵情報高等学校	福島県立清陵情報高等学校

第2部 基調講演会「最新の検索エンジンの動向」

～Yahoo! 検索結果激変対策セミナー～
講師：(株)セミナーチャンネル 代表取締役
メディアネットジャパン 代表 鈴木 将司氏



第6回 (※第8回「産・学・官連携フォーラム」共催)

第7回 ビジネスウェブ活用セミナー「インフルエンサー・マーケティングセミナー」

主催：(財)郡山地域テクノポリス推進機構
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会
日時：平成19年12月7日(金) 14:00～16:00
会場：ホテルハマツ
参加：約30名
講師：ブルーカレント・ジャパン(株)
代表取締役社長 本田 哲也氏
内容：講演会「ネットのクチコミを販促に活かす！」
インフルエンサー・マーケティング

Web2.0時代のクチコミマーケティングとして注目されている新しいマーケティング手法「インフルエンサー・マーケティング」について、その分野の第一人者を招き、国内外の豊富な事例と共に、実践へのステップと成功のポイントについて講演会を行いました。



郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議

戦略的アライアンス形成会議は、郡山地域テクノポリス圏域内の企業が保有する技術力、設備、営業力等の潜在能力を戦略的に活用する組織（アライアンス）を構築することによって、高度な研究開発、新しい受発注及び各種産業振興支援施策の担い手となり、圏域内の産業の活性化を図ることを目的としています。入会を随時受け付けています。詳しくはテクノポリス事務局までお問い合わせ下さい。

当会では、アライアンス（企業連携）による受発注や研究開発を推進していますが、去る12月17日にホテルハマツにおいて、「全体会・交流会」を開催しました。

各研究会（「環境保全・共生科学技術研究会」・「医療・福祉機器等関連新事業創出研究会」・「機能性材料・製造プロセス研究会」）の開催状況及び受発注の実績、企業訪問の活動状況について事務局から報告した後、花巻市の企業支援についての講演および新規立地企業「ホーコス（株）」の会社説明を行いました。また、終了後、講師や新規立地企業を囲み交流会を開催しました。

アライアンス形成会議 会長 福井 邦顕 氏
（日本全薬工業株式会社 代表取締役社長）



【講演】

演題：「花巻市における企業支援について」

講師：花巻市技術振興協会

事務局長兼統括コーディネーター 佐藤 利雄 氏

* 花巻市の取り組み、岩手大学・岩手ネットワークシステム（INS）・花巻地域の産学官連携、起業・企業支援の取り組みなどを例に挙げながらの講演でした。



【企業説明】

説明者：ホーコス株式会社

郡山事業所長 川島 正義 氏

* ステンレスを中心にした建築設備機器の製造と物流倉庫業務の内容について、説明がありました。



全体会終了後の交流会



当財団では、産学官連携による研究開発体制の構築を目的に各種研究会活動を支援しています。大学等との連携により、技術シーズの紹介・提案、企業ニーズの大学等での検証、シーズ・ニーズのマッチングによる具体的な産学共同研究開発案件の掘り起こしなどを行っています。現在分野別に「環境保全・共生科学技術研究会」・「医療・福祉機器等関連新事業創出研究会」・「機能性材料・製造プロセス研究会」の3つの研究会が活動しています。

また、異業種交流グループ「アドホック研究会」が郡山と須賀川地域で組織され活動を行っています。

以下、これら研究会の活動状況を紹介します。

「環境保全・共生科学技術研究会」

当財団と日本大学工学部との共同主催。同大学の環境保全・共生共同研究センターと連携した研究会。環境をテーマとした研究シーズを地域の産業界と融合し新事業創出を図ることが目的です。主な研究テーマは「大気、水質、土壌などの自然環境の保全・修復」、「省エネルギーやクリーンエネルギー」、「廃棄物の処理・リサイクルや未利用資源の活用」、「環境に関する影響評価・分析」、「環境関連装置・環境に調和した製品の開発」など。

「平成19年度第1回」

日時：平成19年7月2日

場所：日本大学工学部 50周年記念館

参加：約70名

内容：「地域における社会環境基盤の保全と防災力向上を目指した戦略的マネジメント手法の提言」をメインテーマとし、地域固有の地勢と気象・地震・環境作用に対する社会環境基盤の脆弱性を明らかにし、民産学官連携によりその保全と防災力向上に関する技術を開発し、それらを実現するための枠組みや手順に関する考え方についての提言。



〔コーディネーター〕

・日本大学工学部 土木工学科 教授 長林 久夫 氏

〔地域の社会環境基盤の脆弱性評価と保全・防災力向上に向けた提言〕

・日本大学工学部 土木工学科 教授 中村 晋 氏

〔地域の社会環境保全に配慮した循環型環境共生社会の構築に向けた提言〕

・日本大学工学部 情報工学科 教授 佐藤 晴夫 氏

〔環境・防災・保全に関する技術と情報の戦略的な説明・伝達手法の構築〕

・日本大学工学部 情報工学科 教授 竹中 豊文 氏

「平成19年度第2回」

日時：平成19年10月15日

場所：白河市大信

参加：22名

内容：視察研修会

地域の木質資源の有効活用を通じて、循環型社会形成に向けた新たな原動力となることを目指して事業に取り組んでいる企業を訪問。



株式会社 白河ウッドパワー 大信発電所



株式会社 ミツヤマグリーンプロジェクト



「医療・福祉機器等関連新事業創出研究会」

当財団と日本大学工学部との共同主催。同大学の次世代工学技術研究センターと連携した研究会。医学と工学などの学問の領域を超えた異なる分野の研究体制により新事業創出を図ることが目的です。「医療や福祉の現場ニーズに関する懇談会」、「医学・工学産業界連携フォーラム」、「先進企業の発表会」などを開催。

「平成19年度第1回」

日時：平成19年9月21日

場所：日本大学工学部次世代工学技術研究センター

参加：約60名

内容：「医療機器のものづくりとビジネス展開」をメインテーマに、平成19年8月28日から30日まで上海で開催された「MEDTEC-CHINA」（国際ものづくり展）視察報告と、医療機器用マイクロモーター及び医療機器のビジネス展開についての講演、パネルディスカッションを実施。



〔コーディネーター〕

日本大学工学部 電気電子工学科 教授 尾股 定夫 氏

講演 「医療機器と薬事法」～ハードルを乗り越えるための薬事戦略～

講師 福島県商工労働部産業創出グループ
主任薬剤師 石橋 毅 氏

講演 「マイクロギヤードモーターの開発と医療機器への応用」

講師 並木精密宝石株式会社 NJC 技術研究所
マネージャー 清水 幸春 氏

講演 「ビジネスの基本・・・医療機器のニーズとポテンシャル」

講師 ホムラ・コーポレーション
代表 本多 敏博 氏

「平成19年度第2回」

日時：平成19年12月7日

場所：日本大学工学部次世代工学技術研究センター

参加：約50名

内容：「福祉保健医療分野への工学的アプローチと技術開発の視点」をメインテーマに、人と共存するロボットの実現化を試み、福祉保健医療分野で器械が人と直接触れ合い、いかにその存在性を高め、機能性を発揮できるかの可能性及び問題点を工学的、医学的視点で捉えた講演、パネルディスカッションを実施。



〔コーディネーター〕

日本大学工学部 電気電子工学科 教授 尾股 定夫 氏

講演 「福祉医療技術とロボット技術の接点」

講師 福島大学 共生システム理工学類
人間支援システム専攻 教授 高橋 隆行 氏

講演 「トイレから学んだ福祉工学」

講師 岩手大学 工学部福祉システム工学科
教授 大川井 宏明 氏

「機能性材料・製造プロセス研究会」

日本大学工学部、福島大学地域創造支援センター、奥羽大学の3大学と福島県ハイテクプラザとの共催。機能性材料と製造技術は経済発展の礎となるものであり、研究開発の需要も高い分野です。「新しい材料や製造技術」、「原稿の材料や製造技術の改善」などがメインテーマとなっています。

「平成19年度第1回」

日時：平成19年6月20日

場所：奥羽大学

参加：約25名

内容：これまで日本大学工学部、福島県ハイテクプラザ、福島大学を会場に研究会を開催しましたが、今回は、奥羽大学において大学概要説明及び講演と施設見学を実施。



- ・開催挨拶 奥羽大学学長 清水 秋雄 氏
- ・奥羽大学概要説明 歯学部教授 宮澤 忠蔵 氏
- ・講演 「歯科におけるインプラントの現状」
歯学部口腔外科学講座 教授 大野 敬 氏
「社会的ニーズに対応したエレクトロケミカルリアクターの構築」
薬学部 准教授 柏木 良友 氏
- ・施設見学 大型機器室・模擬薬局・模擬病室・薬草園

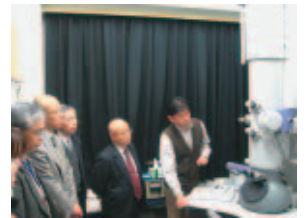
「平成19年度第2回」

日時：平成19年12月3日

場所：いわき明星大学

参加：16名

内容：創立20周年を迎えたいわき明星大学とテクノ圏域内中小製造業との交流の活発化を促し、産学連携の可能性を見出す契機とするため、いわき明星大学を訪問し、意見交換を実施。また、平成19年4月に開設された薬学部の施設見学等を実施。



- ・いわき明星大学代表挨拶および産学連携研究センター紹介
産学連携研究センター長 東 之弘 氏
- ・いわき明星大学薬学部紹介 薬学部長 田中 晴雄 氏
- ・施設見学 薬学部内施設見学 薬学部棟全股・動物舎・模擬薬局等
科学技術系館電子顕微鏡室
- ・意見交換

「アドホック研究会」

会員相互の技術、情報などの交流と幅広い研究を通して、新技術、新商品、新事業の開発と新市場の開拓を促進するとともに、生産・販売面での相互協力を促進し、会員企業の成長発展と地域産業の振興に貢献することを目的に活動しています。会員は郡山地域テクノポリス圏域内（郡山市、須賀川市、三春町、鏡石町、玉川村、石川町）などの企業経営者・役員です。

アドホック研究会（郡山）

会員数：15名

会長：坂口 進 氏（株）坂口伝導工機代表取締役社長

須賀川方部アドホック研究会

会員数：18名

会長：佐藤 博 氏（株）ひまわり代表取締役

【平成19年度 事業内容】

- ◇4月定期総会
- ◇5月例会（平成19年度事業計画（月別テーマ）の検討）
- ◇6月例会（視察研修会「東北エレバム株式会社」（喜多方市））
- ◇7月例会（視察研修「那須歴史探訪館」、「那須芦野・石の美術館」（栃木県那須町））
- ◇8月例会（視察研修会「東北大江工業株式会社」（宮城県柴田郡柴田町））
- ◇9月例会（「第9回ふくしまユニバーサルデザインフェア」参加）
- ◇10月例会（海外視察研修会 ベトナム「（株）吉城光科学工場」「東北リズム（株）工場」見学）
- ◇11月例会（海外視察研修報告会）
- ◇12月例会（視察研修会「住友金属 鹿島製鉄所」「筑波宇宙センター」視察）
- ◇1月例会（新春講演会「下請けからの脱却！その戦略と実践」参加）
- ◇2月例会（郡山市ものづくりセミナー「町工場が宇宙を拓く」
講師 株式会社アオキ代表取締役 青木 豊彦 氏
- ◇3月例会（平成20年度事業（重点事業）の検討）



【平成19年度 事業内容】

- ◇4月定期総会
- ◇5月例会（平成19年度の事業計画についての意見交換）
- ◇6月例会（人工照明等を取り入れた植物の生育状況視察
（南アグリハウス秋山 須賀川市））
- ◇7月例会（石の美術館視察（栃木県那須町））
- ◇8月例会（人工照明等を取り入れた植物の生育状況視察（南アグリハウス秋山 須賀川市））
- ◇9月例会（会員企業訪問・向陽電気（株）東北事業所（鏡石町）・（株）吉城光科学（須賀川市））
- ◇10月例会（海外視察研修（ベトナム））
- ◇11月例会（海外視察研修報告会）
- ◇12月例会（長沼企業連絡会との意見交換会
日本大学工学部 准教授 西田保幸 氏による講演）
- ◇1月例会（電気学会・東北支部主催の講演会（日本大学工学部））
- ◇2月例会（電気自動車についての意見交換）
- ◇3月例会（平成20年度事業計画の意見交換・電気自動車についての意見交換）



平成19年度助成事業

当財団では、テクノポリス圏域内企業や企業グループ（産学連携を含む）等の研究開発や起業化の取組みを支援するため、各種助成制度を設けています。

1 F/S支援制度

研究開発や新事業創出等の成功率を上げるために、開発に着手する前段のフィージビリティスタディ（実現可能性・企業化可能性の調査検討＝F/S）を行う場合に経費の一部（対象経費の2/3以内で100万円を限度）を助成します。

2 研究開発助成制度

新製品・新技術の開発や技術の高度化に関する研究開発を行う企業または共同研究グループに対して研究開発に要する経費の一部（対象経費の2/3以内で300万円を限度）を助成します。

3 起業化助成制度

複数の中小企業者等が、技術革新の進展に即応した技術を製品化・商品化するために必要な商品・製品開発、デザイン開発、情報収集などの事業を行う場合に経費の一部（対象経費の2/3以内で500万円を限度）を助成します。

4 債務保証制度

優秀な技術力、製品開発力がありながら資金調達力不足などの理由で、研究開発が促進できない企業のために、当財団が無担保で2,000万円まで債務を保証する制度です。

◆企業名：クリーン・エネルギー・ネットワーク有限責任事業組合

■研究開発テーマ：「携帯用・非常用燃料電池の研究開発」

大手企業が開発を進めている方式とは異なり、CO₂、COを排出しない環境負荷に配慮したコンパクトな全天候式「非常用・携帯用燃料電池」試作機の開発。

装置開発は、日本大学工学部の指導・協力とマルワテクノ（有）との共同研究により実施。

■研究開発期間：H19.12.25～H20.5.31（実施中）

■助成金交付額：180万円

【F/S支援制度】

◆企業名：クリーン・エネルギー・ネットワーク有限責任事業組合

■F/Sテーマ：

「メタンからの水素生成による改質装置開発のための調査」

家庭用燃料電池の製品開発動向及び天然ガスからの水素生成に関する特許関連事項等の調査を実施。

■事業期間：H19.8.28～H19.10.31（完了）

■助成金交付額：100万円

平成19年度の助成制度対象企業は以下のとおりです。

【研究開発助成制度】

外部有識者で構成する「技術等審査委員会」の審査を経て決定。

○平成19年度上半期（H19.7.5決定）

◆企業名：笠原工業（株）（須賀川市）

■研究開発テーマ：

「液晶保護PETフィルムリサイクル用減容巻き取り装置」

液晶用光学フィルムの加工工程中に剥離発生する保護フィルム（PETフィルム）をリサイクル可能なロール巻き状に減容加工する装置の開発。

装置開発は、（株）コスモテックとアスター工業（株）との共同開発により実施。

■研究開発期間：H19.7.6～H20.2.12（完了）

■助成金交付額：200万円



○平成19年度下半期（H19.12.25決定）

◆企業名：神田産業（株）（須賀川市）

■研究開発テーマ：

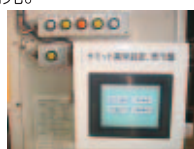
「センサーとシーケンサーによる段ボール製造装置の製品ズレ検査装置の開発」

約50種類にも及び段ボール箱の生産工程において全製品の規格適合検査を、高度なカメラ監視などによる画像解析システムを使わず機械化し、高速稼働（20,000～50,000枚/日）で不具合の検出を効率化した、経済的な検査装置の開発。

装置開発は、（有）エム・ダブル・ティーとの共同開発により実施。

■研究開発期間：H19.12.26～H20.2.18（完了）

■助成金交付額：200万円



NUBIC（日本大学産学官連携知財センター）郡山サテライト

当財団と日本大学の連携により、郡山地域における知的財産・産学官連携活動を活性化し、日本大学及び企業間の共同研究、技術移転等を通じて地域産業の発展・推進に寄与するため、郡山地域テクノポリスものづくりイノベーションセンター内に NUBIC 郡山サテライトを H19.7 から開設しています。（19年度相談件数：10件）

【主な相談内容】

- ・日本大学に属する研究者、研究シーズ、知的財産等の紹介、共同研究、技術指導等の斡旋
- ・知的財産制度、その運用等に関する情報提供
- ・研究開発支援制度、産学連携支援制度等の紹介 など



☆郡山地域をはじめ県内の中小企業・個人等が対象です。
☆相談は無料です。
※開設日時：毎月第4水曜日、午前10時から午後4時まで。事前申し込みが必要です。
※開設場所及び申込先：郡山地域テクノポリスものづくりイノベーションセンター

ニーズプル型UD製品開発事業

本事業は、福島県の委託事業として実施し、今年で4年目となります。ユニバーサルデザイン（以下、UDという）を取り入れた製品開発のテーマ及びプロジェクトを公募し、総合的な支援を行い、製品（試作品）を開発するもので、多様な使い手・利用者を想定したものづくりを通じ、市場の拡大、技術・製品の高付加価値化等、産業の高度化の推進を図ることを目的としています。

19年度の事業内容

①UD製品開発テーマ（ニーズ）の公募

- ・応募件数 187件
- ・*有識者12名で構成する選定評価委員会において15件に絞り込み開発プロジェクトを公募。

②UD製品開発プロジェクト（製作者）の公募

- ・応募件数 8件
- ・*選定評価委員会において2件を選定。
- ◆「自転車ハンドル固定装置」（製作者：日ノ出工機（株））
- ◆「ベッド型簡易体重計」（製作者：（株）コスモテック）

③製品開発支援

- 専門アドバイザーの派遣
 - ・東北芸術工科大学 プロダクトデザイン学科 准教授 柚木 泰彦 氏
 - ・長岡商工会議所企業等OB人材マッチング新潟協議会 コーディネーター 松矢 英一 氏
- 消費者モニタリングの実施（2回実施、モニター33名）
- 研究開発費の一部助成（各プロジェクト70万円助成）
- 新製品（試作品）成果発表会の開催（H20.3.5 郡山ビューホテル）
- 展示会等への出展
 - （第9回ふくしまUDフェア（H19.9 ビッグパレットふくしま）、みんなでつくる「いのち」の祭典2007ふくしま（H19.10 ビッグパレットふくしま））



自転車ハンドル固定装置



昇降式ベッド型簡易体重計



椅子型体重計

技術コーディネーター紹介

■現在2名の経験豊富な技術コーディネーターを配置し、相談に対応しています。

- ・テクノポリス圏内の中小企業・個人や、圏域内に新たに進出を予定される企業の方々を対象です。
- ・相談日時：原則として、平日9:00~16:00（事前に連絡をお願い致します。）

◇技術コーディネーター（兼インキュベーションマネージャー）宮越 稔

出身地は北海道です。郡山に移り住んで早30年経過しました。郡山は第二の故郷になりました。

大学を卒業して、農業機械の研究開発部門に2年ほど席を置きましたが、それ以降は建設業・製造業に従事致しました。建設業では東北6県を中心に橋梁・水門などの他に環境関連の仕事を手掛けました。役員になってからは管理業務は勿論のこと、営業関係に多くの時間を費やしました。民間企業に在職中には営業・設計・管理・製造・工事と一通りのジャンルを実践しました。この経験をベースにしてコーディネーターの仕事に生かすことが出来たら良いと思っています。

コーディネーターになってから早4年が経過しました。これからの私の目標は福島県は「農業王国」でありながら、今まで農業に関する支援実績が少ないことです。これからは農工連携を構築して、消費者と生産者とのコラボレーションを生み出し、そのことが「地産地消」に繋がり、地域経済に貢献できれば良いと思っています。よろしく申し上げます。



◆ご相談ください！

- ・大学、公設試験研究機関等の紹介、技術開発・研究開発マッチングに関する相談
- ・新分野進出・起業化等のビジネスプランに関する相談
- ・研究開発資金、各種助成制度等に関する相談
- ・受発注に関する相談
- ・その他、産学官連携活動や地域企業の技術力の高度化に関することなど

◇技術コーディネーター 佐藤 彰

私は長野県の南アルプスと中央アルプスに囲まれた風光明媚な伊那谷で生まれ育ち、学生時代は早稲田の社でパンカラな人生を模索していました。

郡山に来て、まだ8年程ですが、地域の皆様との絆も深まり、郡山が一生涯の住処となりました。

東京の医科大学附属心臓血管研究所で約6年、体外循環技術の開発や人工心臓の研究開発にいそしみ、それらの開発成果をもって隣国、韓国への技術移転等に約2年従事して来ました。

その後は政府開発援助計画に参画し、政府機関や国際機関の開発コンサルタントとして、25年余に亘り保健医療分野と貧困対策を含む環境共生分野に特化し、およそ30の発展途上国、新興国等で多くの困難と想定外の危険に遭遇しながらも、お互いに腹を割っての信頼と喜びを分かち合っ、無償や有償資金協力の適用によるプロジェクト開発調査（発掘型プロジェクト形成調査、基本/詳細設計調査、運営/維持管理計画の策定、実施監理及び技術協力）を推進して来ました。

私はここ、テクノポリスの技術コーディネーターになってから、まだ半年程で開発途上にある難ですが、皆様からのご協力とご指導を頂きながら、新たな世界秩序の中でどう地域産業を発展させていくか熟考しながら、コーディネーターとしてのミッションに邁進し、皆様と共に「青春しつづけたい！」と思います。

よろしく申し上げます。



平成19年度理事会等の開催報告

(財) 郡山地域テクノポリス推進機構



【理事会】

- ・第1回 開催日：平成19年4月20日
場 所：(書面表決)
議 事：評議員の選任
- ・第2回 開催日：平成19年5月25日
場 所：ビッグパレットふくしま
議 事：平成18年度事業報告
平成18年度決算
- ・第3回 開催日：平成19年7月10日
場 所：(書面表決)
議 事：評議員の選任
- ・第4回 開催日：平成19年9月7日
場 所：(書面表決)
議 事：評議員の選任
- ・第5回 開催日：平成19年12月5日
場 所：ホテルハマツ
議 事：評議員の選任
理事長の選定
- ・第6回 開催日：平成20年3月21日
場 所：ビッグパレットふくしま
議 事：平成19年度補正収支予算
平成20年度事業計画
平成20年度収支予算
一時借入に伴う担保設定

【評議員会】

- ・第1回 開催日：平成19年5月15日
場 所：ビッグパレットふくしま
議 事：理事及び監事の選任
平成18年度事業報告
平成18年度決算
- ・第2回 開催日：平成19年9月14日
場 所：(書面表決)
議 事：監事の選任
- ・第3回 開催日：平成19年11月27日
場 所：(書面表決)
議 事：理事の選任
- ・第4回 開催日：平成20年3月11日
場 所：ビッグパレットふくしま
議 事：平成19年度補正収支予算
平成20年度事業計画
平成20年度収支予算
一時借入に伴う担保設定



郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

【総会】

- 開催日：平成19年4月24日
場 所：ビッグパレットふくしま
議 事：平成18年度事業報告及び決算
平成19年度事業計画及び予算

【郡山地域 IT リエゾン機構 運営委員会】

- 開催日：平成19年4月18日
場 所：ビッグパレットふくしま
議 事：平成18年度事業報告及び決算
平成19年度事業計画及び予算



財団法人郡山地域テクノポリス推進機構 役員名簿

(任期 平成19年4月1日～平成21年3月31日)
平成20年3月31日現在 (敬称略)

- 理事長 丹治 一郎 郡山地域テクノポリス推進協議会長
郡山商工会議所会頭
- 副理事長 原 正夫 郡山地域テクノポリス市町村協議会長
郡山市長
- 副理事長 内堀 雅雄 福島県副知事
- 常務理事 熊田 正治 郡山商工会議所理事
- 理事 相楽 新平 須賀川市長
- 理事 木賊 政雄 鏡石町長
- 理事 加納 武夫 石川町長
- 理事 石森 春男 玉川村長
- 理事 鈴木 義孝 三春町長
- 理事 遠藤 俊博 福島県商工労働部長
- 理事 関根 郁夫 須賀川商工会議所会頭
- 理事 滝田 武 郡山地域テクノポリス推進協議会副会長
郡山地区商工会広域協議会会長
- 理事 境田 孝憲 郡山地域テクノポリス推進協議会副会長
玉川村商工会長
- 理事 内藤 清吾 郡山地域テクノポリス推進協議会副会長
郡山商工会議所副会長
- 理事 能勢 秀幸 株式会社大東銀行取締役社長
- 理事 小野沢 元久 日本大学工学部長
- 理事 宮野 壮太郎 福島県ハイテクプラザ所長
- 理事 小山 紀男 (財) 福島県産業振興センター理事長
- 監事 小針 健治 福島信用販売株式会社代表取締役会長
- 監事 倉田 雅人 東北電力株式会社郡山営業所長
- 監事 渡辺 保元 郡山市商工労働政部長

財団法人郡山地域テクノポリス推進機構 評議員名簿

(任期 平成19年4月1日～平成21年3月31日)
平成20年3月31日現在 (敬称略)

- 山川 充夫 福島大学理事・副学長
- 大川 知 会津大学コンピュータ理工学部教授
- 依田 満夫 日本大学工学部次長
- 影山 弥 郡山女子大学家政学部教授
- 国分 寿雄 福島県商工労働部産業創出グループ参事
- 渡辺 善信 郡山地域テクノポリス市町村協議会事務局長
郡山市商工振興課長
- 磯 明夫 福島県ハイテクプラザ副所長
- 道喜 俊弘 福島県農業総合センター副所長
- 佐藤 長久 (財) 福島県産業振興センター専務理事
- 吉川 勝郎 吉川特許事務所長
- 草野 美昭 須賀川商工会議所副会長
- 作田 秀二 郡山商工会議所 工業部会長
- 阿部 晃造 郡山商工会議所 工業委員長
- 吉田 末男 郡山中央工業団地会会長
- 神田 雅彦 須賀川横山工業団地共栄会会長
- 阿部 賢輔 (株) 東邦銀行取締役郡山支店長
- 前田 孝二 (株) 大東銀行執行役員本店営業部長

技術等審査委員会委員名簿

(任期 平成20年4月1日～平成22年3月31日)
平成20年4月1日現在 (敬称略)

- 仲井 康通 福島県ハイテクプラザ副所長
- 西出 利一 日本大学工学部物質化学工学科教授
- 廣井 勝 郡山女子大学家政学部食物栄養学科教授
- 甘泉 瑞応 会津大学コンピュータ理工学部准教授
- 国分 寿雄 福島県商工労働部産業創出課長
- 渡邊 正幸 (財) 福島県産業振興センター技術支援部長
- 横山 芳一 (株) 東邦銀行郡山支店融資課長
- 重富 浩史 (株) 大東銀行審査部調査役
- 吉川 勝郎 吉川特許事務所長

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会 委員名簿

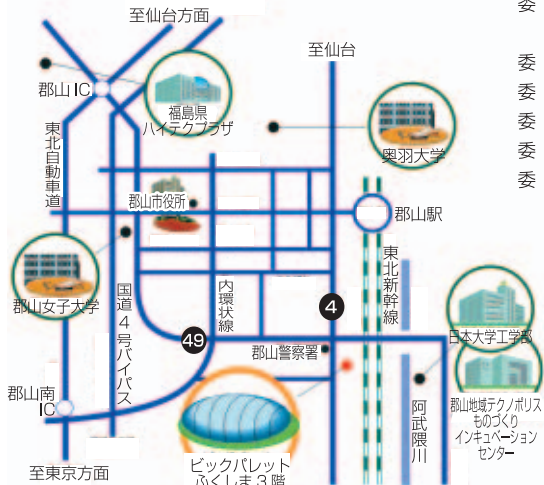
(任期 平成19年4月1日～平成21年3月31日)
平成20年4月1日現在 (敬称略)

- 会長 丹治 一郎 (財) 郡山地域テクノポリス推進機構理事長
- 副会長 栗山 邦城 郡山市副市長
- 副会長 出村 克宣 日本大学工学部長
- 副会長 大槻 順一 郡山商工会議所副会長
- 委員 関根 郁夫 須賀川商工会議所会頭
- 委員 滝田 武 郡山地区商工会広域協議会会長
- 委員 境田 孝憲 玉川村商工会長
- 委員 阿部 晃造 郡山商工会議所工業委員長
- 委員 今田 斉 (株) NTT東日本-福島 郡山支店長
- 委員 鈴木 正博 (株) 福島情報処理センター 代表取締役社長
- 委員 酒井 良信 (株) エフコム代表取締役社長
- 委員 内藤 清吾 エヌケー・テック代表取締役社長
- 委員 水上 哲夫 (有) ぱすわーど 代表取締役
- 委員 上野 隆司 福島県企画調整部情報政策課長
- 委員 国分 寿雄 福島県商工労働部産業創出課長
- 委員 仲井 康通 福島県ハイテクプラザ副所長
- 委員 降矢 正一 郡山市企画部長
- 委員 小林 正司 須賀川市産業部長
- 委員 木賊 正男 鏡石町総務課長
- 委員 三瓶 信一 石川町産業振興課長
- 委員 鈴木 孝 玉川村企画産業課長
- 監事 大越 則夫 郡山市商工観光部長
- 監事 斎藤 隆 郡山商工会議所常務理事兼 中小企業相談所長

郡山地域ITリエンジ機構 運営委員会 委員名簿

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会
(任期 平成19年4月1日～平成21年3月31日)
平成20年4月1日現在 (敬称略)

- 委員長 白井 健二 日本大学工学部情報工学科教授
- 委員 竹中 豊文 日本大学工学部情報工学科教授
- 委員 内藤 清吾 エヌケー・テック(株) 代表取締役社長
- 委員 水上 哲夫 (有) ぱすわーど 代表取締役
- 委員 鈴木 和隆 フォルテ・システムズ(株) 代表取締役
- 委員 水野 和彦 (有) ミズノ製作所 代表取締役
- 委員 本田 啓之 (株) エルピーシステムズ 代表取締役専務
- 委員 鈴木 正広 (株) 福島情報処理センター 郡山システム部副部長
- 委員 斎藤 正弘 (株) エフコム 副本部長
- 委員 石井 幸江 合資会社 パンネットワールド 代表
- 委員 菊池 輝夫 福島県商工労働部産業創出課 主任主査
- 委員 鈴木 正晃 郡山市企画部情報政策課長
- 委員 杉田 秀夫 須賀川市産業部商工観光課長
- 委員 木賊 正男 鏡石町総務課長
- 委員 三瓶 信一 石川町産業振興課長
- 委員 鈴木 孝 玉川村企画産業課長



アクセス時間
●福島空港から郡山駅まで(シャトルバスで約35分)
●郡山駅から南へ3km(車で約10分、バスで約20分)
●東北自動車道・郡山南インターから東へ約6km(車で約10分)

事務局職員名簿

(職員平成20年4月1日現在)

- 常務理事兼事務局長 熊田 正治 (郡山商工会議所出向)
- 事務局次長兼総務部長 金子 達也 (福島県派遣)
- 企画管理課長 穴戸 正浩 (郡山市派遣)
- 技術振興課長 松宮 崇文 (須賀川市派遣)
- 新事業支援課長 青山 茂夫 ((株) 大東銀行出向)

インキュベーションマネージャー兼

- 技術コーディネーター 宮越 稔
- 技術コーディネーター 佐藤 彰
- 技術指導員 中井 浩二
- 情報支援担当(郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会総務担当) 村上 瑞恵
- 総務担当 鈴木 琴子
- インキュベーションセンター総務担当 千原 笑美

お問い合わせ・ご相談はお気軽にご連絡ください。

■編集発行 財団法人郡山地域テクノポリス推進機構 〒963-0101 福島県郡山市安積町日出山字北千保19番8ピックパレットふくしま3階
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会 TEL024-947-4400 FAX024-947-4475